

2025年1月17日

当連合会の意見広告「Sorry Xmas!」が「第62回JAA広告賞 消費者が選んだ広告コンクール」でメダリスト（入賞）に選定されました

このたび、当連合会が2023年12月26日に朝日新聞に掲載した『物流の2024年問題意見広告「Sorry Xmas!」』が、公益社団法人日本アドバタイザーズ協会（略称JAA）が主催する「第62回JAA広告賞 消費者が選んだ広告コンクール」で「メダリスト（入賞）」に選定されました。

「JAA広告賞」とは、審査員に広告の関係者を含まず、広告の受け手である消費者が生活者の視点から審査を行う、世界でも類を見ない大きな特徴を持つ総合広告賞です。

今回は、プリント、オーディオ、OOH、フィルム（短編の部、中編の部、長編の部）の6部門合わせて965点の応募があり、「好感、共感、親近感もてる広告であるか（感性）」「わかりやすく、納得できる広告であるか（理性）」「オリジナリティが感じられる広告であるか（創造性）」の審査基準のもと、114名の一般消費者審査員が約1ヶ月間に渡り選考を行いました。

このうちプリント部門（新聞広告、雑誌広告部門）には186点の応募があり、グランプリ1点、メダリスト（入賞）11点が決定され、当連合会の広告がメダリスト（入賞）に選定されました。

なお当連合会の広告『物流の2024年問題意見広告「Sorry Xmas!」』が広告関連の賞に選定されるのは、2024年9月に発表された一般社団法人日本新聞協会主催「第44回新聞広告賞」において、「新聞広告賞（広告主部門）」を受賞して以来、2回目となります。

当連合会では引き続き、荷主はもとより一般消費者に向けても、しっかりと物流の実情を伝え、物流について考えていただくための取組みを継続してまいります。

※ 公益社団法人日本アドバタイザーズ協会（略称JAA）主催

「第62回JAA広告賞 消費者が選んだ広告コンクール」

<https://www.jaa.or.jp/information/20250116-970/>

※ 「物流の2024年問題」に関するアンケート調査結果について

<https://www.butsuryu.or.jp/asset/55514/view>



2024年以降、このようなことが現実になるかもしれません。
希望する日時に、希望するモノが届くことが「当たり前」の社会。
それを可能にしているのが物流の世界です。

しかし、「物流の2024年問題^{*1}」などにより、
物流の世界ではさまざまな問題が起こることが予想されています。
「クリスマスにプレゼントが間に合わないかもしれない」
そんな想像からで構いません。

暮らしに直結する物流の世界を少しでも知ってもらい、
考えてみてくれたらうれしいです。

*1: 物流業界を主力とするものとするため、2024年4月からトラックドライバーの労務外労働の上限規制が適用されることになっています。このためドライバーの労働時間が短くなることで運送能力が不足し、「モノが運べなくなる」可能性が指摘されており、「物流の2024年問題」と言われています。

さらに詳しく知りたい ▶ [物流の2024年問題](#)

なぜクリスマスプレゼントが間に合わないの？

プレゼントを届ける人の数が足りないんだ…。

プレゼントをきちんと届けてもらうために私たちができることはあるのかな？

早めにお願いくれとうれしいな。

クリスマス以外ではゆとりを持った日時を指定したり、一回で受け取ってほしいな。

アンケートにお答え
いただいた方から抽選で
100名様にプレゼント！



一般社団法人 日本物流団体連合会 www.butsuryu.or.jp
日本物流団体連合会は陸・海・空の物流企業と団体が広く加盟する団体です。